

【競技規定】

世界空手道連盟(WKF)空手競技規定に準じて、大会要項、審判会議申し合わせ事項により行う。

【運営・進行について】

1. 選手は、正面に向ってコート左側の選手集合場所に召集する。
2. 白色の道着に、糸洲会胸マーク及び大会袖章を必ず付ける。マイ帯(赤・青帯)の使用可。
3. 各コートにて、IDカード、道着、帯、ゼッケン、防具等のチェックをする。
4. 各回戦で負けた選手は、退場させる。勝った選手は、次試合のコート側に速やかに移動させる。
5. 表彰者の人数は、プログラムに記載。選手確認を行い、**一部のカテゴリーを除き**、決勝まで続行する。
6. 表彰対象者の選手は、指定の用紙に記入後、指定の場所に誘導し待機させる。
7. 9歳以下の競技者は、アリーナ内またはコート内で保護者・役員のサポートを可とする。
選手1名に対し、サポート者は1名とする。(拳サポータ等の安全具、帯の取替等を手助けする)
8. 型、組手競技に於いて、公式プロテスト、アピールジュリー、VRは採用しない。
9. 撮影は認められるが、特にビデオ(動画)を参考提示・提出による「抗議」は一切認めない。
10. 規定にない問題が生じたとき、審判に関する問題は、当日の審判長及び副審判長に一任する。